

黒大豆エダマメ輪作栽培における緑肥、微生物資材、環境適応型肥料の効果

農林センター

問い合わせ先：農林センター環境部

0771-22-6494

生物資源研究センター応用研究部

0774-93-3527

● 緑肥すき込みや微生物資材施用により、地力の向上とともに、土壌伝染性病害が減少し、エダマメの収量が向上します。

- ヘアリーベッチの春播きにより、エダマメの収量が26～41%増加
- 微生物資材「まめリッチ」を全面施用すると立枯病の発生が減少

紫ずきん2号、3号の精莢重		
	紫ずきん2号	紫ずきん3号
	g/m ²	g/m ²
緑肥作付けなし	319	682
ヘアリーベッチ	401	962
ライムギ	320	484

黒ダイズ立枯病の発生株率（％）			
	8月	9月	10月
対照区	11.8	13.5	14.2
全面区	6.8	9.5	9.9
側条＋追肥区	8.8	10.6	10.9
側条＋半量追肥区	12.1	16.6	16.6

- 緑肥のすき込み作業
- 奥：ヘアリーベッチ、手前：ライ麦



- 黒ダイズの立枯病



期待される波及効果

● 緑肥すき込みにより、エダマメの収量が26～41%増加

● 微生物資材の全面施用により、黒大豆立枯病が30～42%減少